

青森県労働組合総連合

あおもり

2019年9月5日 第348号

発行所 青森県労働組合総連合(青森県労連)
〒030-0852 青森市大野若宮 165-19 Tel 017-762-6234

発行人 青森県労働組合総連合(毎月5日発行) 定価 10円
1992年10月30日 第三種郵便物認可
本紙の購読料は組合費に含まれています。

10の選挙区での勝利は画期的 総選挙勝利で安倍内閣退陣

青森県労連は8月24日、青森市で第31回定期大会を開催、19組合、代議員・傍聴50名、役員20名が参加しました。来賓として全労連野村幸裕事務局長、全労連東北ブロック越後屋健一運営委員、共産党畑中孝之



野党連合政府の樹立を訴える奥村議長

奥村議長は、安倍政権の

アメリカ言いなり、大企業優遇の政策を批判、「総がかり行動実行委員会」や「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」が結成され、市民と野党の共闘の前進によって、参院選挙の1人区の10選挙区での野党統一候補の勝利をもたらしたことを強調し



全労連の野村事務局長

参加者の発言
新岡代議員(三八地労連) 八戸市営バス労組は組合事務所確保のため人事委員会にあっせん依頼、事務所獲得。全医労八戸支部は医師のパワハラ、過半数の拡大を目標に奮闘。
野崎代議員(西北五地区労連) 市長との初めての懇談とメーカーへのメッセージ、メーカーに3野党が初めて出席、20名参加のボーリング大会。
内山代議員(医労連) 再任用拒否について裁判でたたかうことで準備、看護師などに放射線にかかわる



方針案を提起する檜山事務局長

ました。
檜山事務局長局長は19年度運動方針案を提案、組織の拡大強化にふれ青森市とつがる市の障害者施設、十和田市の保育園での新組合結成の前進がありました。が、全体として組合員減少に歯止めがかからず、5000人を割り込む危険性を指摘、組織の拡大は喫緊の課題だと強調しました。大会は全ての議案を満場一致で採択し閉幕しました。



下北地区労連の野坂さん

野坂代議員(下北地区労連) 下北地域一般労組を結成、7名が参加。最貴の意見書採択で全自治体を訪問、むつ市は議員発議で採択、大間町・佐井村・風間浦村でも採択。
対馬代議員(ひだまり)

違法業務を監督署に申告、是正勧告。
秋元代議員(医労連) 介護員の夜間手当を630円から1060円に是正、期間業務職員の夏季休暇の獲得、パワハラ問題。
山本代議員(医労連) 全国一斉に退勤時間調査に健生労組198人が回答、始業前の業務、終業後のサビス残業が多い。
逢坂代議員(高教組) 総務省は非常勤職員にも一時金の支給を通知、青森県では支給について協議すると回答。他県でも獲得している臨時教員の2級適用を要求。
佐藤代議員(中弘南黒地区労連) 3000万人署名推進のための実行委員会の結成、毎月集会・パレード、署名のための毎戸訪問、5万の目標に3万2千筆に到達。



カンパロウ三唱

つがる市の障害者施設の法人の私物化・パワハラ横行に組合を春に結成、正職員の待遇改善・人事の手直しを獲得。
伊藤代議員(県国公) 525名の社保庁解雇に対して71人が人事院に提訴、25人が職場復帰、最高裁で敗訴、支援をよびかけ。
小倉代議員(県国公) 今年の人事院勧告は青年層と非常勤職員の改善。
相馬代議員(中弘南黒地区労連) 地区労連は事務所を健生労組に間借り、役員も年金生活者中心、県労連も含めて役員体制の若返りを。
神代議員(自治労連) 会計年度任用制度の学習会を開催、その後臨時職員を中心に27名が加入。
西崎代議員(ひだまり) つがる市の障害施設で14名で組合を結成、団交を3回実施、県労連・地労連の援助を要請。

19年度役員体制 ~よろしくお願ひします~

副議長	奥村 榮(幹事会・再)
議長	今 正則(幹事会・再)
事務局長	石田英仁(県国公・再)
事務局長	田村儀則(高教組・再)
事務局長	柳谷政志(東青労連・再)
事務局長	檜山康博(幹事会・再)
事務局長	工藤昭隆(医労連・再)
事務局長	阿部 聡(上十三地労連・再)
事務局長	有馬弘樹(県国公・再)
事務局長	戸隆行(私教連・新)
事務局長	鎌田貞孝(ひだまりユニオン・再)
事務局長	相馬貴之(中弘南黒地区労連・再)
事務局長	千代谷邦弘(年金者組合・再)
事務局長	中屋敷泰一(三八地労連・再)
事務局長	野坂孝雄(下北地区労連・新)
事務局長	水島康雄(西北五地区労連・再)
事務局長	宮永崇史(弘大職組・再)
事務局長	村上隆昭(コアあおもり労組・新)
事務局長	和田 力(県教組・再)
事務局長	田中清治(幹事会・再)
事務局長	井筒信之(医労連・再)
事務局長	篠原 徹(県国公・新)
特別幹事	
会計監査	

東京五輪関連で気になる記事を見かけた。それは、一部ではあるが韓国で東京五輪ポイコットの意見が出始め、その理由に「福島原発事故の処理問題」が浮上しているというもの。韓国では福島県などの農産物について厳しい輸入制限を設けていて、このことが東京五輪を巡って再浮上しつつあるのだとか。8月2日付の東京新聞には、「韓国外務省の気候環境科学外交局長が、在韓国日本大使館行使を呼び出し、福島第一原発の放射性物質を含んだ処理水の海洋放出計画が取り沙汰されていることについて説明を求め、日本政府の『公式的な回答』を要求」と書かれてあった。韓国では放射性物質による健康被害への懸念が強く、東京五輪・パラリンピックで選手に提供される食事を問題視したり、日本の輸出規制強化への反発も絡み大会ポイコットの主張が出ているのだそう。でも、これは韓国だけにどまると話ではない。他国の選手だって同じように考えておかしくない。だって、アスリートにとって自身の体は何より大切なからだ。かかって安倍首相は「原発はアンダーコントロール」とぶち上げた。そのツケがこれ。本人もまさかと思っているのかもしれないが、アフターフェスティバル(後の祭り)。因果は巡るのだ。(フリ)

県労連結成30周年 記念祝賀会

県労連大会終了後の18時から青森市クラウンパレスで、青森県労連結成30周年記念祝賀会が開催され、来賓・旧役員・組合員など65名が参加しました。

奥村議長は開会あいさつで、県労連が結成された1989年は国際的にはペルリンの壁の崩壊、天安事件、国内では消費税3%の導入、総評の解散、全労連と連合の結成と激動の年で



六五名が参加した祝賀会

運動を紹介しました。最後にガンバロウを合唱して終了しました。なお、記念誌「県労連新聞で見る青森県労連10年の活動」の冊子を配布することにしています。



三〇周年の記念誌

あつたと指摘しました。誕生した全労連を政府・財界・連合は激しく攻撃、政府関係の各種委員会(最賃審議会・労働委員会)などから排除、現在も継続されています。しかし、全労連・県労連は労働者・国民の生活と権利、平和擁護のために奮闘してきました。

祝賀会では、3代目議長は、3代目議長長平戸富治さんと4代目議長長苦米地宣廣さんが活動の思い出を語りました。

スライドショーで県労連の部会が設置されました。青森県最低賃金専門部会(7/29)では、最低賃金(7/29)では、最低賃金を青森県地域一般労働組合執行委員長の鎌田さんが行い、「食べるだけで精一杯の最低賃金では病気になる、でも病院に行けない事や、生計費調査では全国どこで

最賃28円上げ 七九〇円に

第1回青森地方最低賃金審議会が(7/9)行われ、最低賃金審議会の中から会長に公益委員の石岡さん、会長代理に佐藤さんが選出され、最低賃金専門

部会が設置されました。青森県最低賃金専門部会(7/29)では、最低賃金(7/29)では、最低賃金を青森県地域一般労働組合執行委員長の鎌田さんが行い、「食べるだけで精一杯の最低賃金では病気になる、でも病院に行けない事や、生計費調査では全国どこで

行われ、使用者側5人全員が反対でしたが、労働者側と公益委員が賛成し、28円が青森労働局長に答申されました。

第4回青森地方最低賃金審議会(8/26)では、異議申し立ての審議が行われ、「専門部会で十分な審議したので、審議する必要はない」という事で、異議申し立ては却下されました。

青森市の戦跡めぐり

青森市平和委員会と青森市9条の会連絡センターは9月1日、青森空襲・遺跡めぐりを実施、市民など22名が参加しました。

青森市は戦争末期の7月28日深夜、米軍の8万3千発の焼夷弾によって焼き尽くされました。死者は諸説あるが建設省と復興省の調査によると1036名とされています。



一三八分の座りこみ



焼け残った蓮華寺境内で

参加者は、青森空襲のビデオの鑑賞、青森空襲常設展示室の見学のもと、マイクロバスで市

これからの予定

- 第2回県労連幹事会
日時 10月5日(土)10時半
場所 県労連会議室
- 第21回県高齢者大会
日時 10月10日(木)10時
場所 青森市文化会館
開会セレモニー
津軽人形芝居「金太豆蔵」
記念講演 本田宏氏(立教大学講師)
- 日本平和大会
日時 11月8日～9日
場所 沖縄市・豊見城市

ハガキかFAXかメールで回答。氏名、住所、組合名を書いてください。余白に職場の様子や最近の出来事などを、およそ

第346回 まちがいがし

ください。正解者の中から抽選で図書券をプレゼントします。
●締切 10月15日
●発表 11月号
●宛先 030-0852
青森市大野字若宮165-19。FAX、メールは欄外に表記。「第346回まちがいがし」係りまで。



まちがいは7つ



組合)、中道博章(年金者組合)、飯田マサ子(岩手農林支部)、今晴美(ひだまり)

内の現存する当時の建物、青函連絡船戦災の碑、旧油川飛行場、焼け残った蓮華寺、旧歩兵第5連隊営門などを見学しました。

参加者は、戦跡を見るにつけ悲惨な戦争を繰り返させない思いに駆られました。

そういふ事を考えられる年になったんだなあ。(笹村明日香・民医労)

体調悪くて行けないならともかく、6割の県民は年金下がっても消費税が上がっても文句一つなく暮らせるなんて羨ましいなあ!(細川弘彦・年金者組合)

28円引きあげて790円とするのを青森労働局長に答申したという。これでは税金や社会保険料を引くと手取りは11万円そこそこ。食べるだけでキチキチの生活だ。ダブルワーク・トリプルワークで働いている人も数多い。しかし、それを改善するための闘いも、法整備のための国政選挙への投票も停滞したまま



先日3年生の次男

に「ママはどうして戦争嫌なの?」と聞かれました。私なりに3年生でもわかるような回答をしたつもりですが、きちんと伝わっていいな。子どもだと思っていただけけれど、もう

夏まつりがあわり風が涼しくなったと感じられます。お盆が過ぎればまた時の流れが加速されますね。10月消費税の増税が気になります。(今晴美・ひだまり)

安倍晋三が参院選後に与党を支持する民意が示された、とほざいていた。沖縄県民の辺野古移設反対の民意を無視してきたキザマに都合のいい時だけ民意と言える資格はない!呆れるばかりである。(中道博章・年金者組合)

青森地方最低賃金審議会 8月8日、現在762円か